

## 「国際学研究」の創刊にあたって

関西学院大学国際学部長 伊藤 正 一

関西学院の創立者 W. R. ランバスの精神を通じて本学に託された「世界市民の育成」という歴史的使命の具現化として、2010 年 4 月に関西学院大学国際学部は設立された。本学部は、「国際性の涵養」という教育・研究上の理念を達成するために、「国際事情に関する課題の理解と分析」を教育・研究上の目的としている。

世界における様々な地域には、異なった文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営が存在する。本学部では、学生が高い外国語能力を習得し、人文・社会科学の学際的な観点から、日本や世界の諸事情を多角的に理解し、分析できるようにすることである。そのような理解力と分析力を高めるために、国際学部では、世界の中でわが国と密接な関係を持つ、北米・アジア地域の文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営の領域に関する教育に主眼を置き、「北米研究コース」、「アジア研究コース」の二つを設けている。このように、本学部の学生は人文・社会科学の一つの領域からだけでなく、複数の領域から学際的に日本や世界に関する理解を深め、そして同時に北米（アメリカとカナダ）地域や、アジア（オセアニアを含む）地域に関する学びを通じて、世界全体を見ることのできる柔軟で、かつ幅広い視野をもった「国際性」を身につける。

このような教育を行っている本学部の専任教員は、「国際」を切り口にタテの学問領域（文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営）そして言語教育に含まれる学問分野に基づき研究を行っており、本学部内にて学問領域を跨ぐ共同研究、研究会などを通じて、研究面での相乗効果が期待できる。

このたび創刊された『国際学研究』は、現在、国際学部には所属する研究者の成果発表から構成される。創刊号で発表された論文は、地理学、政治学、経済学、経営学、会計学、言語教育の分野から構成されている。ただし、今後、文化・言語（宗教を含む）、社会・ガバナンス、経済・経営（会計学を含む）、言語教育にかかわる幅広い領域の研究者の研究成果を発表していただく場としての役割も果たすことと期待している。そして、『国際学研究』の掲載論文は、関連する諸領域の研究の質を高め、学問領域を跨いだ個人研究・共同研究を促進し、様々な分野で社会的に貢献していくと期待している。また、『国際学研究』に掲載されている論文は、学生の皆さんに対しても、様々な知識を与え、国際事情に関する課題の理解と分析に役に立つことと期待している。最後に、『国際学研究』を刊行するにあたってご努力いただいた編集委員会の方々に感謝したい。

